

講義コード	1BD0140001
講義名称	ロジカルシンキング 01<春>
科目英文名	Logical Thinking
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2350
単位数	2.0
時間割	春学期: 木曜日 2時限
講義開講時期	春学期

## 担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 大村 鍾太	月曜2限	ohmura@andrew.ac.jp	5H

授業形態	アクティブラーニング	実務経験のある教員による授業① システムエンジニアとしての経験を持つ教員が、ビジネス現場で必要になるロジカルシンキングを指導する
------	------------	---

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。 小レポート/小テスト	協同・協調学習(グループワーク、チームワーク、ペアワーク)
---------------	--	-------------------------------

講義・演習概要	物事を筋道立て整理して考え、わかりやすく伝える論理的思考（ロジカルシンキング）の基本を学ぶ。ビジネスの成功要因が、目に見える「モノ」から、目に見えにくい「サービス」に変化する中で、ロジカルシンキングによる「わかりやすく伝えること」の必要性はさらに高まっている。また異なる特徴をもつ多様なメンバーの中でリーダーシップを発揮するには、普段の生活で行う思考方法や伝え方ではなく、ロジカルシンキングが必要になる。 授業では、ロジカルシンキングの演習を繰り返し行い、グループワークで実践にチャレンジすることで、ロジカルシンキングの効果を体感する。
学習（到達）目標	ロジカルシンキングの実践を通して以下の力を身につける。 1. 課題解決に必要な論理的思考力及び表現力 2. 取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出すための思考方法

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】主張と論拠、ハイコンテキストとローコンテキスト、スキーマ（思考の枠組み）
第2回	【対面】三角ロジック
第3回	【対面】論理式（包含関係、推論、3段論法、対偶）
第4回	【対面】01～03の内容振り返り
第5回	【対面】演繹法と帰納法
第6回	【対面】論理展開の落とし穴①（間違った情報、隠れた前提、論理の飛躍、ルールとケースのミスマッチ）
第7回	【対面】論理展開の落とし穴②（軽率な一般化、不適切なサンプリング）
第8回	【対面】05～07の内容振り返り
第9回	【対面】因果関係（因果関係、単純相関、独立、時間順序、相関関係、第3因子）
第10回	【対面】因果の錯覚
第11回	【対面】09、10の内容振り返り
第12回	【対面】情報の整理（MECE、論理ピラミッド）
第13回	【対面】推論、フェルミ推定
第14回	【対面】詭弁（きべん）、論理的なようなもの
第15回	【対面】まとめ（振り返り）

**成績評価の方法（コメント）**

授業の個人課題：70%、授業全体の参加度と貢献の質：30%  
※科目の特性上、4回以上の欠席はD評価対象となる。

**参考文献**

タイトル：ワンランク上を目指すためのロジカルシンキング トレーニング77  
著者：日沖健  
出版社：産業能率大学出版部  
I S B N：ISBN-10:4382057132、ISBN-13:978-4382057135  
備考：

タイトル：問題解決力を高める「推論」の技術  
著者：羽田康祐  
出版社：フォレスト出版  
I S B N：ISBN-10:4866800615、ISBN-13:978-4866800615

タイトル：論理的思考とは何か  
著者：渡邊雅子  
出版社：岩波書店  
I S B N：ISBN-10:4004320364、ISBN-13:978-4004320364

**事前および事後学習の指示**

事前学習：授業計画にあるロジカルシンキングに関する用語の予習（ネットに解説サイトが豊富にある）  
事後学習：授業でのグループワークでの実践を振り返り、およびPBLでの実践

**その他備考（担当教員用）**

上記「授業計画」については、第1回の授業で詳しい説明がある。なお、授業計画は予定であり変更を行う場合がある。